

■ ポスター発表5（第3会場）

ウェアラブルメガネを用いた歯科衛生士業務について

香川県臨床アカデミー

○磯野寧々^{1) 2)}、西原裕^{1) 3)}、森口善夫^{1) 4)}
赤松秀規^{1) 5)}、今城広治^{1) 6)}、小川尊明^{1) 7) 9)}
片桐幸大^{1) 8)}、上里聡^{1) 2)}

近年、様々なデジタル機器の発達と普及によって、臨床がより簡便に容易になってきている。その中に、顕微鏡を使用する方法や、その視野をディスプレイに表示するなど、視覚的な機器を用いる方法が存在する。質の高い治療を行うにあたって、視野を拡大することや、複数人で情報を共有することは重要である。臨床を行っている間に、同時に視覚的情報を入れることは、情報処理が増え、治療を加速し、より円滑にすることができる。

われわれは、通信用メガネ「beyond glasses」（以下 b.g.）を用いている。これは HDMI と WiFi を用いて、ディスプレイを診療と同一視野に映し出すことができる。したがって、診療しながらその他の情報を確認したり、指示をしたりすることができる。

今回、この b.g. を歯科衛生士が使用するにあたり、臨床的に用いることができる状況や利点欠点について報告する。



■ 略歴

2020年 香川県歯科医療専門学校 衛生士科 卒業
2020年 医療法人社団ゆずか こうざと矯正歯科クリニック 勤務

■ 共同発表者

- 1) 香川県臨床アカデミー
- 2) 医療法人社団ゆずか こうざと矯正歯科クリニック
- 3) 医療法人社団 裕歯科クリニック
- 4) 医療法人社団 もりぐち歯科クリニック
- 5) 赤松歯科医院
- 6) いまじょう矯正歯科クリニック
- 7) おがわ口腔外科クリニック
- 8) かたぎり歯科クリニック
- 9) 香川大学医学部 歯科口腔外科